

〔伯林發〕ベルリン當局では米軍のアイスランド進駐についてル大統領は恐るべき爲弊であるアメリカの政策は全ヨーロッパ人を封鎖する食糧難を落し入れんとするものである事は明である事非難してゐる。

〔倫敦發〕チャーチル首相は昨日下院で次の如く演説した。米軍がアイスランドへ進駐した事は開戦以來最も重要な出来事であつて我々は今回アメリカの行動に頗る満足するものである。これは米政府並に國民が英國に對して必要な總ての援助を惜しまないこと云ふ事を如實に示したものである。

◎重慶財政尙餘裕あり

△マニラ（U.P.電） 七月七日 厦門語放送

〔重慶六日電〕財政部長孔祥熙氏は本日友邦に對し日支開戦以來中國に與へたる貸款に感謝を表し「これを以て中國財政の前途に對する信頼を表示するに足る。而して日本が世界各國より借款を得ざることを異るものと云ふを得ん」と述べ、次いで中國の財政陣線を檢討し中國の臨時財政法に「新發行の債券が相當の數字に達せる」を承認せるが日本の戦時國債は既に中國の負擔の三倍となり、中國に於ける個人の負擔二十元となれるが、

日本は各人四百圓となれりと指摘せり。孔氏は巷間に使へられある自由中國の通貨は膨脹せりとの説に論及し「紙幣の發行増加、及び通貨膨脹の影響に對する點に多少の誤解あり現在中國の紙幣發行總額が飽和點に達せりとは云ふを得ず、四年以來の中國財政の充裕は實に人をして驚かしめたり。中國通貨は嚴酷なる境地に達せず、之即ち巧妙なる困難發生阻止に依る、國內外の中國財政に對する深き信念は怪むに足らず」と述べたり。

△重慶發表の日軍損害

△マニラ（U.P.電） 七月七日

〔重慶發〕軍政部長何應欽の一ケ年の戦況回顧によると、支那軍は六千七百六十二回の戦闘を行ひ、敵に三十七萬六千名の死傷者を出さしめた。支那軍は日本軍と同等の兵力ではあつたが劣つた裝備をもつて先づ河南省南部に對する日本側攻撃を撃退し、又江西省北部の上高から日本軍を掃蕩した。支那軍が豫期した結果を得られなかつたのは浙江福建沿岸で日本海軍が活躍したとき、中條山脈の戦闘で渡河點を失つた時である。又福州を失つたが廣西省南部一帯を奪還した。コンミニユニケによれば、過去四年間の日本側の死傷者は、九九四二六九人、捕虜二四〇八二人、戦車及び装甲車一三三二二臺、大

砲一、八三八門、機關銃七、八八八挺、小銃一、六五五八八挺、彈藥一、二二六〇、〇六六發、飛行機三、〇五四機、殺されたり捕虜になつた飛行士三、六五〇人である。

◎野島丸抑留

△マニラ 七月七日 厦門語放送
フィリッピン海軍當局抑留の日船野島丸に關する報道に依れば「其の搭載せる軍用品を當地に於て積卸すか、又は米政府宛運輸する保證ありたる後釋放すべし、もし米政府に運輸せんせば、又米駐比島大官の許可を得べきなり」と。

△前同 (U. P. 電) 七月七日
日本政府に徵發された日本貨物船「ノジマ」丸の積んでゐたアメリカ向け軍需資材の陸揚が開始された。尙これらのアメリカ政府が買つたものと見られるクロム鐵礦、椰子、大麻等をアメリカへ再輸出する準備が行はれてゐる。



外國宣傳情報 第五十六號

昭・一六七一五情報局

本資料は外國發信局發信内容を其のまま採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

◎日本、ソ聯攻撃必至態勢に入る

重慶側放送は、板垣大將朝鮮軍司令官任命に結び付け、日本は西歐混亂の機械を利用して中立條約を有名無實に置き、ソ聯攻撃に出るべく今にして英米ソ支共同して日本打倒實行の時至れりと宣傳しあり

△重慶 (タス通信) 七月八日

「大公報」は社説に於て日本のソ聯に對する攻撃の可能性と日本軍閥のシベリヤ及び沿海州に對する占領企圖といふ問題を再びとりあげ「日本は反ソ・反共戰のスローガンを掲げ